

「敦賀港セミナーin 福井」が開催されました！

敦賀港湾事務所

3月6日、敦賀港の利用促進に向けてポートセールス活動を行っている（社）敦賀港貿易振興会が、県内企業を対象に敦賀港への関心を深めることを目的として「敦賀港セミナーin 福井」を福井市内で開催しました。

会場には、貿易振興会会員や企業関係者ら約70名が集まり、「最近の税関行政と福井県の国際物流の現状」と題し、財務省大阪税関敦賀税関支署松村署長が講演を行いました。

講演に先立ち、貿易振興会の会長である河瀬敦賀市長が「中京・京阪神に近い、敦賀の地の利を活かすとともに、来年本格供用を迎える多目的国際ターミナルをしっかりと活用し、敦賀港を環日本海の拠点としたい」と開会の挨拶を行いました。

続いて、福井県嶺南振興局敦賀港湾事務所福岡所長より、H22年に本格供用を予定している敦賀港鞠山南地区多目的国際ターミナルの整備状況や現在検討している管理運営体制（第三セクター）について説明があり「たくさんの企業に参画して頂くことで、多くの貨物を集めたい」と述べました。

講演で松村署長は、福井県の輸出入貨物は、名古屋、神戸、大阪港を利用する割合が高いとし「敦賀港はフェリーやRORO船を利用した国内貿易は強いが、外国貿易はそうでもない」と述べる一方「地元企業の敦賀港利用が課題となる中、東洋紡敦賀事業所が利用拡大を示していることから、今後コンテナの取扱が増える見通しがある」と講演し参加者は熱心に聴き入っていました。

最後に敦賀港貿易振興会有馬副会長が「来年敦賀港の多目的国際ターミナルが本格稼働を迎えることにより、企業の経営の効率化、さらには福井県経済の発展のために貢献できる港となるよう努力していく」と述べ閉幕しました。



セミナー会場の様子



講演を行う財務省大阪税関敦賀税関支署
松村署長



(社) 敦賀港貿易振興会会長 河瀬敦賀市長



福井県嶺南振興局敦賀港湾事務所
福岡所長



(社) 敦賀港貿易振興会 有馬副会長



講演に耳を傾ける参加者